

『2024年版 1級土木施工第1次検定徹底図解テキスト&問題集』

お詫びと訂正

本書で記載されている内容に誤りがありました。

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

P173 (3) 潜堤 (人工リーフ)

誤)

概念的には海上に姿を見せない離岸堤に近いと考えられるが、天端幅が広く、一般的に天端幅を堤長よりも長くする必要があるとされている。

正)

概念的には海上に姿を見せない離岸堤に近いと考えられ、**一般に、天端幅が狭く天端水深の浅いものが潜堤と呼ばれ、人工リーフは、通常水面下に没している天端幅の広い構造物を指す。**

P194 ②軌間整正の基準側レール

誤)

軌間整正の施工において基準側は、直線区間では路線の終点に向かって左側を原則とし、曲線区間では外軌側としている。

正)

軌間整正の施工において基準側は、直線区間では路線の終点に向かって左側を原則とし、曲線区間では**内軌側**としている。

P267 2 河川の使用及び河川に関する規則

誤)

(2) 土地の占有の許可 (河川法第 24 条)

正)

(2) 土地の**占用**の許可 (河川法第 24 条)

別冊 P46 令和 5 年度第 1 次検定問題 B 問題 13 の解説

誤)

カッタによる取り壊しでは、撤去側躯体ブロックにカッタの取り付けを禁止するとともに、切断面付近にシートを設置して冷却水の飛散防止をはかる。そのため、(2) は適当でない。

正)

転倒方式による取り壊しでは、解体する主構造物に複数本の引きワイヤを堅固に取り付け、引きワイヤで加力する際は、一度に荷重をかけるようにして行う必要がある。そのため、(2) は適当でない。